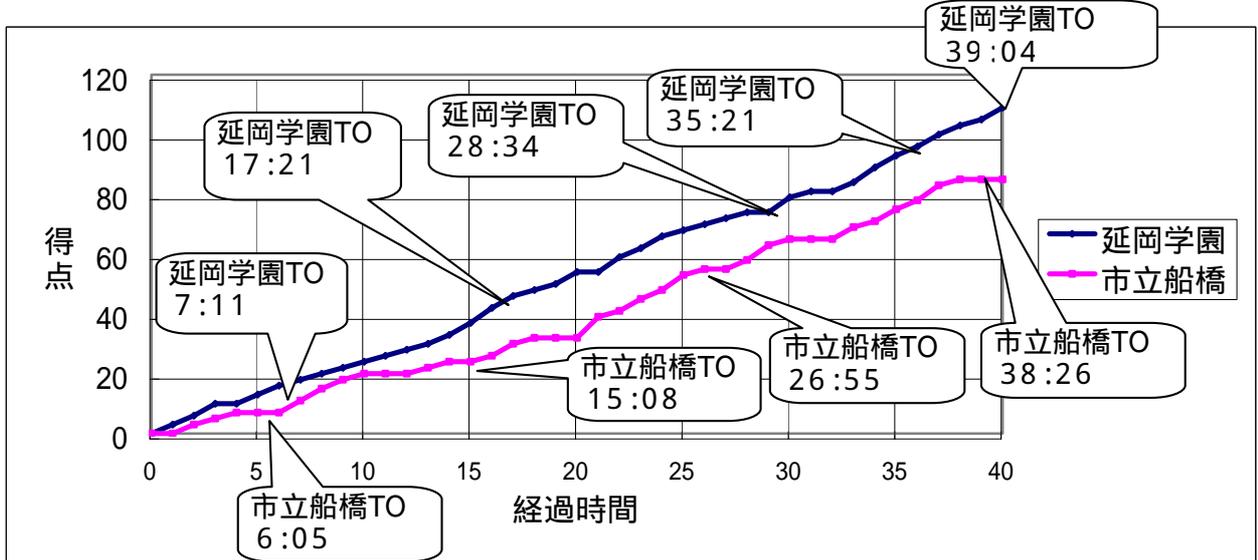


大会名	平成19年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会第60回全国高等学校バスケットボール選手権大会	M2	11:40	男子 3回戦																	
		延岡学園 宮崎	109	<table border="1"> <tr><td>24</td><td>-</td><td>20</td></tr> <tr><td>30</td><td>-</td><td>14</td></tr> <tr><td>25</td><td>-</td><td>31</td></tr> <tr><td>30</td><td>-</td><td>20</td></tr> <tr><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> </table>	24	-	20	30	-	14	25	-	31	30	-	20	-	-	-	85	市立船橋 千葉
					24	-	20														
30	-	14																			
25	-	31																			
30	-	20																			
-	-	-																			
2007年(平成19年)7月31日(火)																					
期日	唐津市文化体育館																				
会場																					

主審 清水 幹治 副審 緒方 崇



### 延岡学園

No.	氏名	点	3P	2P	FT	F
4	福留 貴明	0	0	0	0	0
○ 5	シダット ジャーラ	31	0	15	1	3
○ 6	和田 力也	33	6	6	3	1
○ 7	永吉 佑也	8	0	4	0	3
○ 8	前田 陽介	21	5	3	0	2
9	重永 和樹	0	0	0	0	1
○ 10	内村 祥也	10	1	3	1	2
11	大坪 将太	0	0	0	0	0
12	川口 裕也	0	0	0	0	0
13	横瀬 孝樹	2	0	1	0	0
14	中村 友哉	0	0	0	0	0
15	川元 崇史	4	0	2	0	0
16						
17						
18						
コーチ	北郷 純一郎					
	合計	109	12	34	5	

### 市立船橋

No.	氏名	点	3P	2P	FT	F
○ 4	神 佳希	24	0	11	2	4
5	岩井 俊憲	0	0	0	0	1
○ 6	三富 修平	14	0	6	2	3
○ 7	遠藤 祐亮	17	3	2	4	1
○ 8	星野 拓海	23	4	4	3	1
9	小出 翼	0	0	0	0	0
10	西 信之	0	0	0	0	0
○ 11	和田 保彦	7	1	2	0	3
12	常世田 政明	0	0	0	0	0
13	河合 智平	0	0	0	0	0
14	藤岡 昂希	0	0	0	0	0
15	森山 翔太	0	0	0	0	0
16						
17						
18						
コーチ	廣田 誠					
	合計	85	8	25	11	

はスターター ( はキャプテン) 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル

## 戦 評

ツインタワー擁する延岡学園と、速いボール運びからシュートチャンスを作りたい市立船橋との対戦。第1 P、お互いにハーフコートマンツーマンでスタートする。市立船橋はツインタワーに気を取られ、延岡学園 # 6 和田らに連続3 Pを許す。市立船橋も # 7 遠藤の3 Pや # 8 星野のドライブインなどで対抗し、延岡学園が24対20とリードして第2 Pへ。第2 P、延岡学園は # 5 シダット、 # 7 永吉のツインタワーが確率の高いゴール下のシュートで得点を重ねていく。それに対して、市立船橋はインサイドを攻めきれずアウトサイドシュートを狙うが決定力に欠け54対34と20点のリードを許して前半終了。第3 P、内・外から多彩な攻撃を見せる延岡学園に対し、市立船橋は速い展開からの攻撃で対抗する。残り1分30秒、市立船橋は、 # 8 星野の3 Pで11点差まで追い上げ、79対65で延岡学園がリードして第4 Pへ。第4 P、最終ピリオドに入り、お互い点の取り合いとなるが、高さに勝る延岡学園がオフenseリバウンドから確実に得点するなどしてじわじわと点差が開く。最後まで積極的にシュートを狙った市立船橋であったが、延岡学園が109対85でこの試合を制しベスト8に進出した。

記載者 喜多 隆一 (所属) 佐賀県バスケットボール協会